



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「コンパクトシティ実践ガイド-医療・福祉・子育て連携!-」編集:コンパクトシティ研究会 出版:(株)ぎょうせい



本書は「立地適正化計画制度を受けて本格化したコンパクトシティの取組について、医療・福祉・子育て支援の観点から解説と事例の提供を行い、各自治体における取組を促進する目的」で作成されたものです。

少子・高齢社会を迎えるにあたり、コンパクトシティを実現する上で医療・福祉・子育ては切っても切り離せない重要な要素です。しかしながら、多くの都市において福祉部局とまちづくり部局の連携が円滑に進まない状況が見られ、その原因は双方の「まちづくりそのものへの認識不足」等が考えられます。本書は、その両者の溝を埋めるために、福祉部局とまちづくり部局の連携の考え方やあり方から始まり、まちづくりにおける医療・福祉・子育て施設の先進事例紹介、技術基準等の基礎的資料により構成されています。特に、立地適正化計画の策定を待つことなく、可能な分野から自ら動き出した自治体の取組が紹介されていることから、今後のコンパクトシティを実現に向けて、福祉施設等を検討しているご担当者におかれては、ぜひ参考にしていただきたい一冊です。

今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

沼田市 都市計画課 菅野 義則



菅野 義則さん



講座の様子

読者のみなさん、こんにちは。平成30年7月に群馬県まちづくりファシリテーターの認定を受けました菅野です。

沼田市では「ぐんま“まちづくり”ビジョン」アクションプログラム策定に取り組んでいますが、その過程で県の担当の方からお誘いを受け、平成29年度「魅力あるまちづくりパートナーネットワーク講座」を受講させていただきました。

受講当初は受講者みなさんの柔らかく自由な発想に圧倒されていましたが、回数を重ねるたびに同じグループのメンバーを中心にみなさんと打ち解け、どうにか全課程を修了することができました。講座は、座学だけでなく、まちあるきなどの体験もあり、楽しみながら「参加者が自由な発想で意見を出し合える雰囲気づくり」、「意見のまとめ方」など、ファシリテーターとして必要な“技”を学ぶことができます。さらに講師である大下先生の受講者への多種多彩なコメントや事務局のみなさんのきめ細かい対応で、受けごたえのある講座となっていますので、みなさんも、ぜひ、受講してみてください。

短期間ではありましたが私自身も講座で学んだことを少しでも活かして、多くの方と関わりながら地域資源を活かした魅力あるまちづくりに取り組んで行きたいと思っております。

マーチィの掲示板

インターンシップの学生が 群馬県都市計画課に来てくれました!

群馬県では、群馬県庁での就業体験を通して、学生の職業意識の向上を図るとともに、県行政の仕事の魅力ややりがいを経験的に伝えることを目的として、群馬県インターンシップを実施しています。今年は、8月20日から8月31日までの10日間を実施し、都市計画課では8月27日から8月31日までの5日間、高崎経済大学、日本大学、群馬大学の3人の学生が研修に参加してくれました。各係の担当者から説明を聞いたり、まちづくりに関する演習を行ったりしました。景観に配慮して前橋合同庁舎前にベンチを置いてみたり、伊勢崎市東武伊勢崎線剛志駅の乗降客を増加するためにはどうしたらよいかを考えたり、群馬の森公園や県道前橋長瀬線、群馬県コンベンション施設周辺の道路事業の現地見学をしたりと盛りだくさんの内容でした。

そんな中、帝京大学大下先生による「魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク講座」の入門編に事務局として参加してもらいました。講座の中ではまちづくりのワークショップの実演や様々な手法の事例紹介があり、学生たちは、とても熱心に耳を傾け、メモをとっていました。「まちをよくするには、住民との合意形成がとても大事。そのための手段にワークショップという手法がある。」「ワークショップのことは今まで何も知らなかった。」「県ではまちづくりのために様々な取り組みをしていることに驚かされた。」などという感想をいただきました。

今回のインターンシップが、彼らにとって貴重な体験となり、「将来群馬県で働きたい!」と願っていただける事を期待しています。



大下先生による講義



会場の様子

